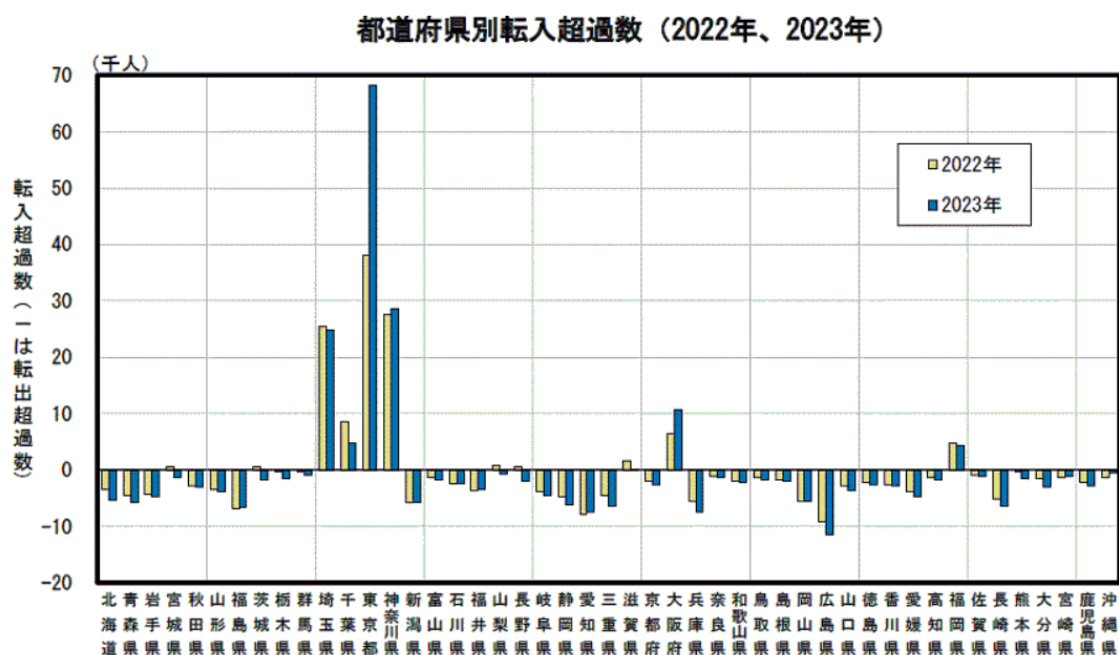


23年 香川など40道府県で人口流出

総務省が1月30日に公表した2023年の人口移動報告によると、東京都は転入者が転出者を上回る「転入超過」が6万8285人でした。一方、香川では2784人の転出となるなど、40道府県では「転出超過」となりました。

<都道府県別 人口移動状況について>



コロナ禍が明け経済活動が活発化したほか、就職や進学に伴う若年層の東京への移動が増えています。また内閣府の公表によると、2022年の香川県の高齢化率 ※1)は32.4%、2045年ではさらに上昇し38.3%の予想となっています。県外へ転出した子が香川県の不動産を相続し、遠方のため管理に困るといったケースが増加すると思われる。実際に県外のお客様からの相続に伴う不動産売却のご相談も多くなっています。

弊社では社員の多くが『宅地建物取引士』に加えて、『相続診断士』の資格も有しています。相続に関するご相談も承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

※1) 高齢化率とは、総人口に占める65歳以上の人口の割合のことです。